

10

20 KOBUNSHOIN (20×20 400字)

ちしい気持ちになります。  
すると、お母さんは、  
「ごはん作ってる間に、じいさんと話を終らせる  
ておい  
と言いますだから、ぼくは  
「お母さんにパワーをあけたから、ぼくのバ  
ッーがなくなっちゃったから宿題あるパワー  
がないんだよね。  
「と言います。あるとお母さんは「ぎや  
しとしてくれます。でも、ぼくは  
「ぜんぜん足りないからでさなish。  
「とぼくは、いじめるを言ってしまします。  
「そして、9才上のお姉ちゃんといつた上のお  
兄ちゃんがつぎに1としてくれます。そして  
「みんなで宿題を教えてくれます。  
「宿題をかんばる力が出るのは家族のおか  
がだいじ。  
とお母さんがいいます。家族のみんなあっ  
「1には、とてもすごいパワーがあるなと  
思います。ぼくも、みんなをたすけたいです。